

2018年6月13日

各位

SBSフレック株式会社

## 自転車のラストワンマイル配送を開始しました！

—環境に優しい配送効率アップをめざし、住宅密集地域で導入—

三温度帯の食品物流ネットワークを全国規模で展開するSBSフレック株式会社（社長：佐藤佳嗣、本社：東京都墨田区）は、EC通販の宅配業務を運営している市川デリバリーステーション（千葉県市川市、以下、DS）にて、5月15日から配送業務専用電動アシスト自転車による配送を稼働いたしましたのでお知らせします。



SBSフレックの市川DSは、JR総武線市川駅近くに位置し、その配達エリアは高層マンションと戸建住宅地が混在する住宅密集地域です。一方通行道路が多く、車では大きく迂回しなくてはならない場所が多い地域でもあります。そこで当DSでは、配送効率を高めるために配送業務専用電動アシスト自転車（以下、配送用自転車）を導入することにしました。

導入にあたっては安全への配慮を最も重視し、自転車配送専用のマニュアルを整備、普通自転車とは異なる法規上の位置づけや走行上の留意点などについて研修を行いました。また、配送コースは、配送用自転車の機動力を十分に発揮できるよう、もっとも住宅が密集しているエリアを中心に設定しました。

SBSグループのロゴマークをあしらった配送用自転車を2台用意し、本年4月からテスト配送を開始。テスト配送では、車両で15分ほどかかっていたエリアに5分で到着できるようになったことや、着脱可能な荷台のまま棟内を配達するなど、時間および作業量の軽減効果が確認できました。また、配送員が、住民の方々の目に留まる存在になったことでお客様とのコミュニケーションが活性化するという、想定していなかった効果も得ることができました。

約1か月半のテスト配送を通じて、軽自動車による配送との効果的な連携パターンや、ドライバーを安定的に確保する施策、大口・大型荷物の対応など、新たな課題も生じましたが、現場で一つひとつ検証し解決しながらより良い運営方法を検討しております。SBSフレックでは、安全性、効率性、経済性に優れ、環境負荷軽減など様々な効果が期待できる自転車配送を、今後も積極的に推進してまいります。



【環境負荷軽減にも貢献！】CO<sup>2</sup>排出削減量は、2ℓペットボトル換算で年間53.9万本/台。



【作業量の軽減】荷台部分を外し、そのままエレベーターに乗せて配達することができる。

以上

## ■ご参考

### <SBSフレック株式会社概要>

本 社：東京都墨田区太平4丁目1番3号 オリナスタワー

代 表 者：代表取締役社長 佐藤 佳嗣

創 業：1956年（昭和31年）

親 会 社：SBSホールディングス株式会社（持株比率65.99%）

資 本 金：2億18百万円（2016年12月末現在）

売 上 高：431億円（2016年12月末現在、SBSフレックグループ連結）

従業員数：2,799名（2016年12月末現在、同上の正社員及びパート等含む）

事 業 所：北海道から九州まで全国に約70拠点を設置

関係会社：SBSフレックネット(株)

事業内容：旧雪印物流(株)の時代から約半世紀にわたって食品の低温物流を全国ネットで展開しています。2004年にSBSグループ入り。同グループの食品・3温度帯物流事業のコア会社として、食の安全をしっかりと守る物流品質で全国のお客様に輸送・保管・流通加工・センター運営などをご提供しています。また、物流全般を一括でお引き受けする3PLサービスにも注力しております。

U R L：<http://www.sbs-flec.co.jp>

## ■本件に関するマスコミからのお問い合わせ先

SBSホールディングス株式会社

I R・広報部 TEL：03-3829-2240／e-mail：[contact11@sbs-group.co.jp](mailto:contact11@sbs-group.co.jp)

※ 当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。